

イネ科 スズメガヤ属

# カゼクサ (風草)

*Eragrostis ferruginea* (Thunb.) P.Beauv.

## 自生環境

道ばた、野原、土手 など

## 原産地

日本在来

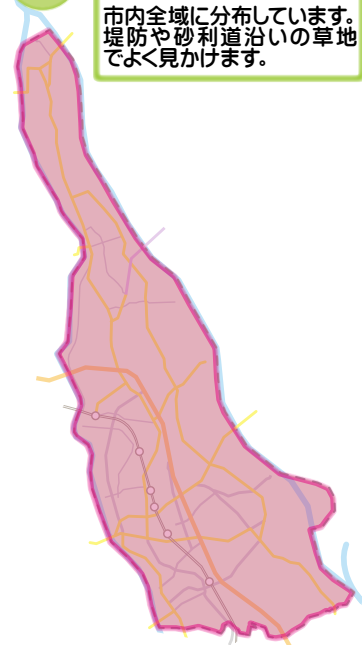
## 生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

## 市内の分布状況

市内全域に分布しています。堤防や砂利道沿いの草地でよく見かけます。



## 特徴

- ☆ 日当たりがよく乾燥した草地や道ばたに多く見られる多年草です。特に砂利道沿いに多く、よくオヒシバやチカラシバ、オオバコなどといっしょに生えています。何年もかけて根をがっしりと張り、簡単には引き抜けないくらいになります。
- ☆ 長さ 30 ~ 40cm ほどの細長い葉を、株もとから多数出し、こんもりと茂ったような姿になります。萌芽力がとても強く、刈られてもすぐに復活します。またとても踏まれ強い草です。
- ☆ 夏から秋にかけて、茎の先に長さ 30cm ほどの円錐形の穂がつきます。ひとつひとつの小穂は紫がかった色で、5 ~ 10 個ほどの小花からなります。タネは丸く膨らんで、小花からはみ出すようにつきます。

## 風を知らせる草

カゼクサは、大地にどっしりと根を下ろす一方で、穂や葉は細くて華奢で、わずかな風でもよくそよぎます。そのことから風が存在を知らせるとして、風草と名づけられました。同様の理由から名づけられた草をもうひとつあります。それがフウチソウ(風知草)です。フウチソウは山地の崖上に自生します。市内に自生はありませんが、観賞用に栽培されているので時折見かけます。



茎の先に 30cm ほどの長さの穂がつく

根がとても深く引っ張ってもなかなか抜けない



しょうか小花

小穂

小穂は紫がかった色。5~10個ずつ小花がつく



小花は咲くと開いて中から雄しべと雌しべが顔を出す



穂は枯れるとそのまま白く乾燥する

## カゼクサ同様に風を知らせる草



参考 フウチソウ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

